

事業番号 2022 - 総務 - 新22 - 0025

令和4年度第2次補正予算行政事業レビューシート (総務省)

事業名	国際機関と連携したルール形成支援事業			担当部局	国際戦略局		作成責任者		
事業開始年度	令和4年度	事業終了(予定)年度	令和4年度	担当課室	国際戦略課		課長 大森 一顕		
会計区分	一般会計								
根拠法令 (具体的な条項も記載)	総務省設置法第4条第1項第73号			関係する計画、通知等	国際電気通信連合条約第三十三条 経済財政運営と改革の基本方針2022 について(令和4年6月7日閣議決定) 統合イノベーション戦略2022(令和4年6月3日閣議決定) 物価高克服・経済再生実現のための総合経済対策(令和4年10月28日閣議決定)				
主要政策・施策				主要経費	その他の事項経費				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	ITU(国際電気通信連合)の電気通信標準化局においては、今後、Beyond 5G/6Gに関連した次世代通信ネットワークに関する標準化を推進するための取組を行うことが予定されているところ、オープンな議論を通じてBeyond 5G/6Gの基盤となる有線ネットワーク技術の全体像を示しつつ、その中でも我が国が強みを有する光ネットワーク技術や量子暗号通信、仮想化技術等の分野で我が国の技術規格を着実に定着させていくことが重要である。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	我が国のBeyond 5G/6Gに関する取組などの知見を各国に示しつつ、ITUの場を活用したプロジェクト(①有線ネットワーク技術の設計等標準化に向けた議論の牽引、及び②同議論結果を啓蒙するとともに、その取組を途上国を含めて広く理解度を高めるためのワークショップ)を実施する。								
実施方法	その他								
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			
		補正予算	-	-	-	469			
		令和4年度第2次補正予算	-	-	-	469			
		前年度から繰越し	-	-	-	-			
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-			
		予備費等	-	-	-	-			
		計	0	0	0	469			
	執行額	0	0	0					
	執行率(%)	-	-	-					
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)	-	-	-						
令和4年度第2次補正予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	令和4年度第2次補正予算	主な増減理由						
	国際電気通信連合等拠出金	469							
	計	469							
活動内容 (アクティビティ)	Beyond 5G/6Gに関連した次世代通信ネットワークに関する標準化を推進するためのITUの場を活用したプロジェクトを実施する。								
活動目標及び活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	5年度活動見込	
	ITUの活動の活発化	ITUが開催する国際会議等の数(参考値)	活動実績	-	-	-	688	-	
			当初見込み	-	-	-	-	-	
単位当たりコスト	算出根拠		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込		
	拠出金/国際会議等の数	単位当たりコスト	百万円	-	-	-	0.7		
		計算式	百万円/回	-	-	-	469/688		
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標年度	目標最終年度	
	国際機関への貢献を通じた我が国の方針の反映及びプレゼンスの向上	ITUの職員数(専門職以上)に占める日本人職員数の割合	成果実績	人	-	-	-	-	-
			目標値	人	-	-	-	-	8.7
			達成度	%	-	-	-	-	-

根拠として用いた統計・データ名 (出典)		ITU作成資料「Choice of class of contribution for defraying the Union's expenses (C19/43)」及び「Human Resources Reporting and Statistics()」							
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 年度	目標最終年度 4 年度
	国際機関への貢献を通じた我が国の方針の反映及びプレゼンスの向上	ITUの幹部職員数(D1以上)に占める日本人幹部職員数の割合	成果実績	人	-	-	-	-	-
			目標値	人	-	-	-	-	8.7
			達成度	%	-	-	-	-	-
根拠として用いた統計・データ名 (出典)		ITU作成資料「Choice of class of contribution for defraying the Union's expenses (C19/43)」及び「Human Resources Reporting and Statistics()」							
政策評価、 新経済・財政再生計画との関係	政策評価	政策	V. 情報通信(ICT政策)						
		施策	6. ICT分野における国際戦略の推進	政策評価書 URL	-				
	新経済・財政再生 計画改革工程表 2021	取組事項	分野:	-	-				
			(新経済・財政再生計画改革工程表 2021) URL:	-					
		該当箇所	-						
事業所管部局による点検・改善									
国費投入の 必要性	項目			評価	評価に関する説明				
	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。			○	我が国主導によるBeyond 5G/6Gの標準化の推進を図ることで、国民や社会のニーズを的確に反映しつつ、戦略的な国際標準化活動を推進している。				
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。			○	本事業は、国際機関たるITUにおいて、各国政府関係者の代表者を中心に構成される活動に関連した取組であり、地方自治体、民間等に委ねることは不可能。				
政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。			○	ITUにおける我が国の権益の確保やプレゼンス維持・強化等に資するものであり、政策体系の中で優先度の高い事業である。					
事業の 効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。			-					
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。			無					
	競争性のない随意契約となったものはないか。			無					
	受益者との負担関係は妥当であるか。			-					
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。			-					
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。			-					
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			○	ワークショップを開催すること等により、我が国のプレゼンスを維持し、我が国の技術規格を着実に定着させていくことにつながるため、真に必要なものに限られている。				
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)			-					
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)			-						
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。			-						
事業の 有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。			○	我が国のBeyond 5G/6Gの基盤となる技術に関する知見を各国に示し、標準化に向けたプロジェクトを行うための体制を確保することは、今後のITUにおけるBeyond 5G/6Gの標準化に係る議論における我が国の貢献を高め、ITUにおける我が国の権益の確保やプレゼンス維持・強化等に資するものである。				
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。			-					
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。			-					
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。			-					

関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-	-
-------------	--	---	---

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成23年度			
平成24年度			
平成25年度			
平成26年度			
平成27年度			
平成28年度			
平成29年度			
平成30年度			
令和元年度			
令和2年度			
令和3年度			

※令和3年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何をやっているかについて補足する)
(単位：百万円)

総務省
469百万円
拠出金の負担

A 国際電気通信連合 (ITU)
【拠出金】469百万円(人件費等)